

—食と緑が支える豊かな「あま」をめざして—

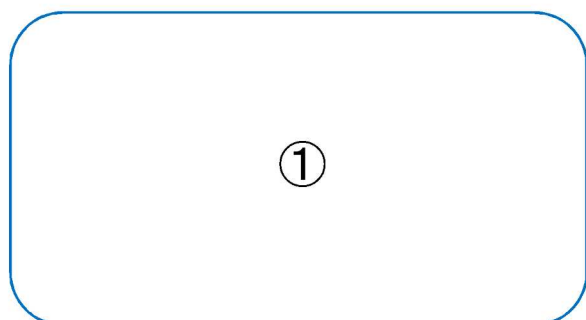


食と緑の
海部地域
レポート
2021

令和3年8月
海部農林水産事務所



==表紙の写真説明==



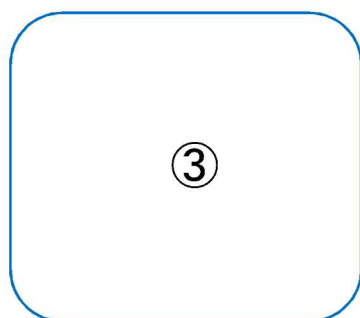
① 難裂莢性ダイズ品種「フクユタカ A 1号」の収穫（弥富市）

② 就農を記念した色紙の贈呈式（あま市）

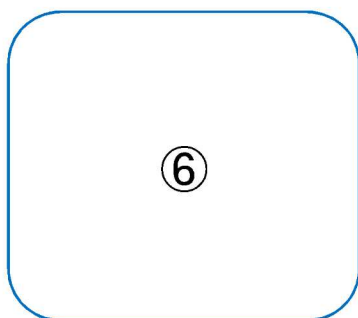
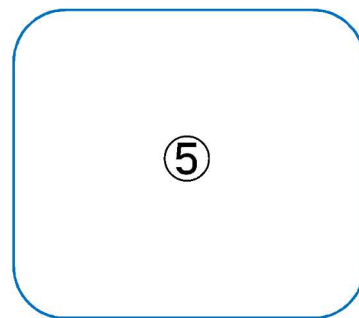
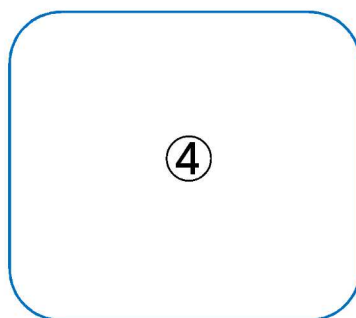


③ 海部地域いいともあいち即売会（津島市）

④ 排水機場学習会（弥富市）

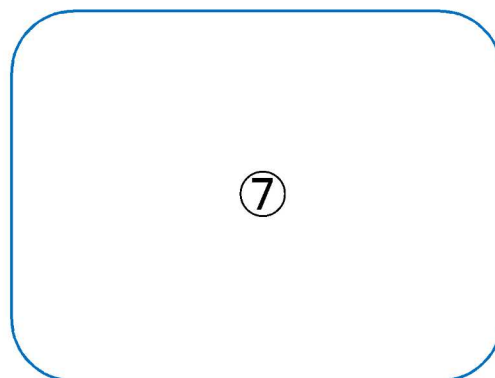


⑤ レンコン掘りを指導する農村生活アドバイザー（愛西市）



⑥ 森林の学習での工作（弥富市）

⑦ 愛知県海部総合庁舎での花きディスプレイ（津島市）



食と緑の海部地域レポート 2021 目次

I	食と緑の海部地域レポート作成の趣旨	3
II	海部地域における主な取組	4
1	競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保	
(1)	あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上	
	施策目標① 新技術・新品種の本格的導入	4
(2)	マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大	
	施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上	5
(3)	意欲ある人が活躍できる農業の実現	
	施策目標③ 新規就農者の確保	6
	施策目標④ 担い手への農地集積	7
	施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新	7
(4)	食品の安全・安心の確保と環境への配慮	
	施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施	8
2	農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践	
(1)	農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	
	施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進	9
	施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催	9
	施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催	11
(2)	食育の推進による健全な食生活の実践	
3	自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり	
(1)	災害に強く安全で快適な生活環境の確保	
	施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策	12
(2)	森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮	
III	食と緑の基本計画 2020 海部地域推進プランの進捗状況	14

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨

平成28年3月に「食と緑の基本計画2020」が策定されました。

この「食と緑の基本計画2020」は、「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」に基づき、その理念を実現するための基本計画であり、令和2年度を目標年度としています。

そして、海部農林水産事務所は、この「食と緑の基本計画2020」の推進事項のうち、海部地域の特徴を踏まえ、重点的に取り組む事項を定めた実践計画として「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」を平成28年7月に策定しました。

この「食と緑の海部地域レポート2021」は、「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」に掲載した海部農林水産事務所の各種の取組について、令和2年度の実践状況を、とりまとめ報告するものです。



「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例(平成十六年三月二十六日条例第三号)」

== 抜 粋 ==

第三条 食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくりは、次に掲げる事項が推進されることを基本理念として行われなければならない。

- 一 将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること。
- 二 将来にわたって森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること。

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入

○難裂莢性^{※1}ダイズ品種「フクユタカA1号」が海部地域で本格導入

愛知県の大豆主力品種「フクユタカ」は、豆腐への加工適性等、品質について実需者から高い評価を得ています。しかし、麦との二毛作のため大豆の収穫時期と麦の播種時期が重なることから、大豆の収穫作業が適期から遅れる場合が少なくなく、その場合にはさやが裂け、収穫ロスが生じてしまいます。そこで、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構で開発された、「フクユタカ」に難裂莢性の遺伝子を取り込んだ新品種「フクユタカA1号」の導入について検討しました。

海部地域では、平成25年度より現地実証試験を行い、難裂莢性が高く収量及びその他の特性が「フクユタカ」同等でこの地域に適応性があることを確認し、令和2年度から「フクユタカ」から「フクユタカA1号」に全面的に品種切り替えが行われました。

令和2年産大豆作は、梅雨明けの遅れによる播種の遅れやその後の高温少雨の影響による減収がみられました。今後、栽培方法、肥培管理の工夫による、品質・収量の更なる改善に努めています。



フクユタカA1号



フクユタカ

【自然裂莢^{※2}の比較（2015年）】（安城市）

〔 フクユタカでは、さやがはじけて地面に落ちた子実が多いが、
フクユタカA1号では、さやがはじけにくいいため落ちた子実が少ない。 〕

注 ※1 難裂莢性：子実・さやの乾燥が進んだ後でも、さやがはじけにくい性質

※2 自然裂莢：子実・さやの乾燥が進み、自然にさやがはじけること

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上

令和2年度の麦、大豆、飼料用米、加工用米等の戦略作物の作付面積割合は、前年並みの19% (1,345ha) を維持しています。

○需要に応じた生産の推進

主食用米の需要量が、減少傾向にある中、需要が増加傾向にある戦略作物の作付を推進しています。



【小麦の作付け】（愛西市）

○市場の要望に応じた生産体制の整備

管内の主要園芸作物であるいちごでは、県補助事業を活用して、高設栽培設備や養液栽培設備等を導入し、省力化に加え、品質・均一性の高い生産を進め、市場価値の高い、実需者からの要望に応えられる産地づくりを推進しました。



【いちごの高設栽培】（愛西市）

○6次産業化の推進について

経営安定化、所得拡大を目指し、農林漁業者が取り組む6次産業化を支援しています。

令和2年度は、自ら生産する農産物の加工に取り組んでいる生産者を対象に、加工方法の指導と相談対応を行い、新たに「生姜のオリーブオイル漬け」等3品の加工方法が確定し、販売できるようになりました。

今後も、6次産業化を進める市町村や農林漁業者による新商品の開発等を支援します。

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保

○令和2年度の新規就農者について

新たに就農される方を支援するため、農業改良普及課内に農起業支援センターを設け、新規就農を希望する個人、企業等の相談に応じています。

令和2年度には計33人（延べ49回）の相談を受け、農業次世代人材投資事業や青年等就農資金等の紹介、栽培に関する農業技術の習得等、就農に向けて計画的に準備ができるように支援しました。

令和2年度は、2人が新規就農しましたが、部門は共に施設野菜です。



【新規就農者セミナー】

< 新規就農者数 >

(人)

区分	23年度～27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	小計
新規学卒	16	7	3	2	2	1	15
Uターン	28	10	2	12	5	0	29
新規参入	10	3	4	8	1	0	16
中高年Uターン	6	1	1	4	2	1	9
中高年新規	2	0	0	0	0	0	0
合計	62	21	10	26	10	2	69

※中高年：45歳以上65歳未満

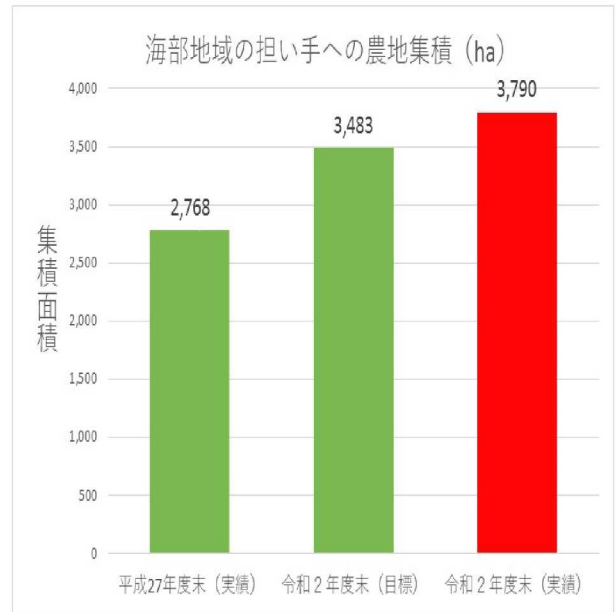
※各年度とも前年5月2日から当該年5月1日までの1年間に就農した人数

施策目標④ 担い手への農地集積

平成26年度から農地集積を目的として新たに事業として始まった「農地中間管理事業」等により、農地の担い手への集積面積は5年間で1,022ha増となりました。

その結果、海部地域における令和2年度末の担い手への農地集積は、目標を大きく超え、3,790haとなり、集積率では51.7%となりました。

この集積率は、県全体の集積率40.0%を大きく上回り、県内でも有数の先進地域となっています。



施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新

○老朽化した農業水利施設の整備更新による農地の生産性の維持

老朽化した農業水利施設の整備更新事業を行った結果、用水の安定供給や適切な排水を行うことができ、令和2年度末までに3,174haの農地の生産性を維持することができました。

・農業水利施設保全対策事業

令和元年度までに、弥富市において2か所の排水機場の機器の整備補修を完了しました。



【農業用排水機の整備】 (弥富市)

・地盤沈下対策事業

令和元年度までに、津島市と愛西市において2路線の用水路の整備を完了しました。また、令和2年度において、津島市とあま市で2路線の用水路を整備しました。

・特定農業用管水路特別対策事業・地盤沈下対策事業

松之郷、梅之郷地域（飛島村）及び日置地域（愛西市）において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管の更新を完了しました。森津地域（弥富市）において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管の更新を行いました。

また、令和2年度において、津島市、愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村の12地域で石綿セメント管、塩化ビニル管を更新しました。



【石綿セメント管の撤去】（弥富市）

（4）食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施

「食品表示は一目瞭然」を合い言葉に、平成21年度から毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」と定め、食品表示の適正化を推進しています。

この「食品適正表示の日」を中心に、延べ40回、管内の食品販売事業者や米穀販売事業者を対象に、遵守状況調査を実施し、食品表示の適正化を図りました。

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進

令和2年度は、いいともあいち運動ネットワーク会員1件と推進店2件の加入がありました。

○海部地域いいともあいち即売会の開催

「いいともあいち運動」推進の取組として、令和2年11月7日及び8日に、あいち海部農業協同組合愛菜耕房店頭で、海部地域いいともあいちネットワーク会員が地元産のレンコンやいちご、白いちじくを使用した和洋菓子やお米を使用したおにぎり等の加工品を販売し、「いいともあいち運動」のPRを行いました。

また、会場で「あいちの豚肉消費拡大」応援資材を配布し、豚熱の発生により大きな影響を受けたあいち産豚肉の消費拡大を呼びかけました。



【いいともあいち即売会】（津島市）

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春先の開催は中止となりましたが、海部苗木花卉生産組合連合会や管内市町村等と連携して、令和2年10月31日に、弥富市にある海南こどもの国で、花育教室を開催しました。小学生を中心とした、多くの方々が参加しました（全体98人）。



【小学生等を対象とした花育教室】
（弥富市）

○森林の学習の開催

森林の働きや木材の性質を知り、親しみを感じてもらうために「森林の学習」を津島市立神守小学校始め3校で延べ6回開催し、162人の児童が参加しました。

開 催 校
津島市立神守小学校(3回実施)
愛西市立立田北部小学校
弥富市立十四山西部小学校(2回実施)



【椎茸原木菌打ち体験】（津島市）

○木育イベントの開催

令和2年10月31日、11月1日の2日間にわたり、弥富市の「海南こどもの国秋まつり」の中で、「きになる?!木のおへや」と題したイベントを開催しました。

木の名前あてクイズやコースターづくりなど、多くの子どもたちに参加いただき、木に触れ、ぬくもりを感じ、木に親しんでもらうことができました。



【「きになる?!木のおへや」(クイズコーナー)】（弥富市）

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催

小学生を対象にした排水機場現地学習会を、4か所の排水機場（愛西市、弥富市）において5回開催し、農業農村整備事業の役割、必要性についてPR活動を行いました。5校、約130人の児童が参加しました。

市町村	排水機場名	学 校 名
愛西市	鷹場	開治小学校
愛西市	勝幡	勝幡小学校
弥富市	鍋田南部	栄南小学校 大藤小学校
弥富市	孫宝第二/新孫宝	十四山東部小学校



【排水機場での現地学習会】（愛西市）

（2）食育の推進による健全な食生活の実践

○海部地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

食育推進ボランティアの食育に関する知識の向上を図るために、「海部地域食育推進ボランティア研修交流会」を令和2年10月20日に海部総合庁舎において開催し、総勢15人が参加しました。

今回は、消費者の関心が高い「食品表示」をテーマに、「食品表示の基礎について」と「玄米と精米の表示と米トレーサビリティ法による記録と伝達」の研修を行い、食品表示の基礎について、広く学んでいただくことができました。



【海部地域食育推進ボランティア研修交流会】

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策

排水機場や排水路の改修事業を行った結果、排水機能を増強することができ、令和2年度末までに1,989haの区域で防災・減災対策を行うことができました。

○たん水防除事業

令和元年度までに、津島市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町において10か所の排水機場の更新を完了しており、令和2年度に飛島排水機場（飛島村）の更新を完了しました。

また、令和2年度において、津島市、愛西市、あま市、蟹江町、稲沢市に関する5か所の排水機場の更新を行いました。

○地盤沈下対策事業

令和元年度までに、津島市、愛西市の3路線の排水路の整備を完了しました。

また、令和2年度において、津島市、愛西市、弥富市、あま市、飛島村に関する13路線の排水路の整備を行いました。

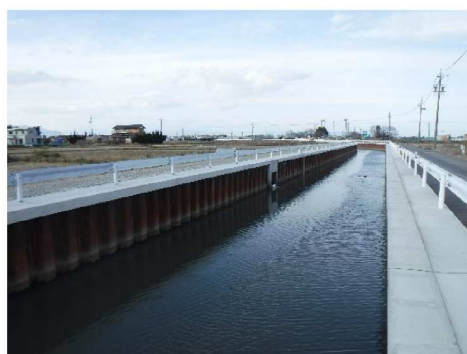
○緊急農地防災事業

令和元年度までに弥富市、蟹江町において2か所の排水機場の改修と弥富市において3路線の排水路の整備を完了しました。

また、令和2年度において、津島市、愛西市、あま市、蟹江町、大治町に関する5か所の排水機場の改修と弥富市、飛島村で3路線の排水路の整備を行いました。



【飛島排水機場の整備】（飛島村）



【立田地域の排水路整備】（愛西市）

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

○多面的機能支払事業を活用した農地や自然環境等の保全の取組に対する支援

- ・ 農地を保全するためのあぜ・排水路等の草刈りや清掃、水路の泥上げ等の活動を行っている6市町村40活動組織に対して支援をしました。



【飛島広域委員会による水路の泥上げ活動】（飛島村）



【鍋田広域委員会による草刈り活動】（弥富市）

- ・ 農家と地域住民との交流、農村環境確認のための生物の生息状況調査の活動に対して支援をしました。



【鍋蓋水土里環境保全会と子供会の交流活動による芋掘り】（蟹江町）

Ⅲ 食と緑の基本計画2020海部地域推進プランの進捗状況

主 な 取 組 項 目		2019年度 (R1)		2020年度 (R2)	
施 策 目 標	目 標 値	実 績	進 捗 状 況 (注)	実 績	進 捗 状 況 (注)
○ あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上					
① 新技術・新品種の本格導入	5年間で5件	累計4件	◎	累計5件	◎
○ マーケットインの視点に立った生産・流通の改選と需要の拡大					
② 戦略作物の作付比率の維持・向上	5年後19%を維持	19%	◎	19%	◎
○ 意欲ある人が活躍できる農業の実現					
③ 新規就農者の確保	5年間で60人	累計67人	◎	累計69人	◎
④ 担い手への農地集積面積	5年後に3,483ha	3,664ha (累計896ha増)	◎	3,790ha (累計1,022ha増)	◎
⑤ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積	5年間で3,174ha	累計3,092ha (計画3,034ha)	◎	累計3,174ha (計画3,174ha)	◎
○ 食品の安全・安心の確保と環境への配慮					
⑥ 食品表示遵守状況調査	毎年40件	40件	◎	40件	◎
○ 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進					
⑦ 「いいともあいち運動」ネットワーク会員・推進店の新規加入	5年間で20件	累計30件	◎	累計33件	◎
⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催	毎年3回	3回	◎	1回	△
⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催	毎年7回	8回	◎	5回	△
○ 災害に強く安全で快適な生活環境の確保					
⑩ 農村地域の防災・減災対策面積	5年間で1,989ha	累計1,586ha (計画1,560ha)	◎	累計1,989ha (計画1,989ha)	◎

(注) ◎ : 目標に対して100%以上
 ○ : 目標に対して80%以上100%未満
 △ : 目標に対して80%未満